

新しい公共支援事業の成果等報告  
(新しい公共の場づくりのためのモデル事業分)

1 事業実施内容

モデル事業名	県域における大規模地震等発生時の外国人支援システム構築事業	
分類	<input checked="" type="checkbox"/> 一般枠 <input type="checkbox"/> NPO支援重点化枠	
事業実施主体名	公益財団法人 三重県国際交流財団	
事業概要	県内には、約 46,800 人（県人口に占める割合全国第 3 位）もの多くの外国人が暮らしていますが、県の地域防災計画においては、災害時要援護者である外国人住民を支援する方策が具体化されていないのが実状です。本提案事業は、県内における大規模地震等発生時に外国人住民を支援する新たな仕組みを、多様な主体との連携のもとで県と協働して創ることを目的とするものです。	
実施期間	平成 23 年度	—
	平成 24 年度	平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 29 日まで
支援額 (注釈参照)	平成 23 年度	— 円 ※総額のみ記載してください。
	平成 24 年度	※総額及びその内訳を記載してください。 2,500,000 円 【内訳】 人件費            1,923,603 円 旅費              263,830 円 通信運搬費      9,213 円 諸謝金            180,000 円 消耗品費        10,471 円 印刷製本費      2,470 円 賃借料            42,118 円 租税公課費      68,295 円
マルチステークホルダー（会議体）の取組状況	●協働事業参加組織	
	県との協働会議：三重県（防災企画・地域支援課、多文化共生課、男女共同参画・NPO 課） 多様な主体との協働会議：四日市市市民文化部文化国際課、財団法人鈴鹿国際交流協会、NPO 法人ボリビア協会、Portal Mie 株式会社、特定非営利活動法人みえ防災市民会議、社会福祉法人鈴鹿市社会福祉協議会、特定非営利活動法人伊賀の伝丸、特定非営利活動法人愛伝舎、三重地域留学生交流推進会議事務局、みえ企業等防災ネットワーク代表、三重県国際交流財団災害パートナー	
	●会議の実施状況	
	実施月日	会議の議題
	5 月 10 日	第 1 回県との協働会議 ・ 県域における災害時外国人支援の状況と今後の対応について ・ 今後の災害時外国人住民支援の具体的対策について
6 月 27 日	第 2 回県との協働会議 ・ 先進事例を持つ国際交流協会への視察報告① ・ みえ多言語支援センターの設置・運営に関する協定（素案）について	

	8月7日	<p>第3回県との協働会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先進事例を持つ国際交流協会への視察報告②</li> <li>・みえ災害時多言語支援センターの設置・運営に関する協定(案)について</li> <li>・多様な主体との協働によるつたわるネット推進会議について</li> </ul>
	8月29日	<p>第4回県との協働会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みえ多言語支援センターの設置・運営に関する協定(案)について</li> </ul>
	11月28日	<p>第1回多様な主体との協働会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の外国人住民への情報提供のしくみやあり方について</li> </ul>
	1月31日	<p>第2回多様な主体との協働会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報提供のあり方について事例により検討</li> </ul>
	3月19日	<p>第5回県との協働会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協定案、財団実施要領案について</li> </ul>
事業内容	<p><b>事業内容</b></p> <p>1 災害時の外国人住民支援について検討するための場として「つたわるネット推進会議」を設置</p> <p><b>【県との協働によるつたわるネット推進会議】(5回)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 第1回(5月10日):「今後のつたわるネット事業の進め方」「県域における災害時外国人住民支援の状況と今後の対応」「大規模地震発生時における多言語支援センターの設置・運営」の3点について協議</li> <li>* 第2回(6月27日):「つたわるネット推進会議設置要領(案)について」「県域における災害時外国人住民支援の状況と今後の対応の確認」「先進事例を持つ国際交流協会への視察報告」「大規模地震発生時における「みえ災害時多言語支援センター」の設置・運営に関する協定」(素案2)について」の4点について協議</li> <li>* 第3回(8月7日):県との協定内容について具体的な検討を行う</li> <li>* 第4回(8月29日):協定内容及び実施要領・マニュアル案について協議</li> <li>* 第5回(3月19日):協定案、財団実施要領案の最終確認</li> </ul> <p><b>【多様な主体との協働によるつたわるネット推進会議】(2回)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 第1回(11月28日):災害時により多くの外国人住民に情報が流れるようにするにはどうしたらよいか、について意見交換をし、次の事柄についてまとめた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)外国人住民への情報提供方法として効果的なもの</li> <li>(2)災害時の外国人住民支援として普段からできること</li> <li>(3)災害時の外国人住民支援における課題</li> </ul> なお、(3)については対応策についてもまとめ一覧表として作成した。 </li> <li>* 第2回(1月31日):情報提供のあり方と具体的な取組みについて災害時に想定される問合せをもとに検討を行ったところ、より具体的な事柄が課題として見えてきた。</li> </ul> <p>2 協定内容の検討、実施要領案作成</p> <p>3 先進事例を持つ国際交流協会等への視察</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 5月:(公財)横浜市国際交流協会、(公財)かながわ国際交流財団視察</li> <li>* 7月: <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)岩手・宮城・福島三県の地域国際化協会によるシンポジウム参加及び東日本大震災被災地視察</li> <li>(2)多言語支援センターの運営経験を持つ茨城県国際交流協会視察</li> </ul> </li> </ul> <p>4 災害パートナーの募集登録</p> <p>登録者数 41人(言語別登録者数:英語12人、中国語18人、ポルトガル語6人、タイ語2人、インドネシア語2人、フィリピン語2人、パンパンガ語1人、イロカノ語1人、韓国朝鮮語4人、ドイツ語2人、スペイン語2人、ベトナム語1人)</p>	

	<p>5 事業に関するホームページ URL 三重県国際交流財団ホームページ: <a href="http://www.mief.or.jp/jp/saigai_system.html">http://www.mief.or.jp/jp/saigai_system.html</a></p>
<p>当初計画（採択時）からの変更点とその理由</p>	<p>多様な主体と多言語情報を届けるしくみについて検討する会議の名称の変更 (当初)災害時外国人住民支援実施要領・マニュアル策定検討会 (変更)多様な主体との協働によるつたわるネット推進会議</p> <p><b>【理由】</b> 当初、秋頃に県と協定を締結し、その後検討会方式で実施要領等の検討を行う予定でしたが、協定内容の検討を進める中で、多様な主体の協力を得て県と共に多言語支援センターを運営する方向性が確認されたため、関係する団体と災害時の外国人住民支援について、また効果的な多言語情報の提供について意見交換をする場へと変更することとなった。</p>
<p>成果と課題</p>	<p><b>成果</b></p> <p>① 県との協議により、災害時の外国人住民支援システムとして、多様な主体との連携・協働による「みえ災害時多言語支援センター」(仮称)の設置や役割等について検討をし、協定案及び財団実施要領の取りまとめを行うことができた。県との協定は、平成25年4月に締結予定。</p> <p>② 先進地の視察により、協定内容をはじめ多言語支援センターの迅速かつ円滑な運営のために、必要な研修や運営シミュレーションを繰り返し行うことの必要性がクリアになった。</p> <p>③ 多様な主体(市町国際交流協会、外国人団体、災害に関する民間団体、外国人に関する民間団体、大学、企業、財団災害パートナー)との意見交換により、災害時の外国人住民への情報提供方法について多角的に検討を重ねることができた。その結果、各主体が持つネットワークを利用し情報を流すことの必要性を確認するなど関係団体間の顔の見える関係づくりができた。</p> <div data-bbox="427 981 877 1317" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="986 981 1321 1429" data-label="Image"> </div> <p>↑ 多様な主体との協働によるつたわるネット推進会議の様子</p> <p>●今後の課題</p> <p>① 県、多様な主体との話し合いを通じて、災害時の外国人住民支援として実施する多言語支援センターの運営については、研修等によるシミュレーションを重ねる必要がある。</p> <p>② 多言語支援センターの運営については、多様な主体の協力・連携が必要となることから、平常時より各団体とのネットワーク・連携強化に努める必要がある。</p> <p>③ 平常時の活動(研修会や多言語支援センターの運営シミュレーション、ネットワークの構築・連携強化)の重要性については、県及び多様な主体の間でも共通の認識となったが、そこに係る経費については、その財源を明確にすることができなかった。そのため、今後は民間助成金等を活用するなど財源確保に努める必要がある。</p>
<p>平成25年度以降の見通し</p>	<p>●財団の災害パートナーの募集・登録を引き続き行う。</p> <p>●県委託事業や助成金等を活用し、災害パートナー等の研修会や多言語支援センターの運営シミュレーション等を実施するとともに、多様な主体とのネットワーク・連携の強化を図る。</p>

(注) 当該支援額により取得し、又は効用の増加した価格が50万円以上の機械及び器具等がある場合、別業にて、機械等の名称、価格、管理者及び耐用年数等を明記すること。

2 成果の達成状況等

<p>平成 24 年度に達成しようとする成果</p>	<p>①大規模地震等発生時における「みえ災害時多言語支援センター」の設置・運営に関する協定(案)の締結:県と財団の間                  ②同協定に基づく設置・運営等実施要領及びマニュアルの作成                  ③多様な主体との協働によるつたわるネット推進会議の開催                  ・外国人住民への災害時の多言語情報を届けるしくみについて検討</p>			
<p>具体的な指標の達成状況等</p>	<p>項目</p>	<p>当初目標設定</p>	<p>平成 25 年 3 月末の達成状況</p>	
	<p>①県との災害時連携協定</p>	<p>目標値(協定締結)/ 現状(協定なし)</p>	<p>協定案の決定(へ性 25 年 4 月協定締結予定)</p>	
	<p>②災害パートナー登録者数</p>	<p>目標値(40 名)/ 現状(20 名)</p>	<p>41 名</p>	
	<p>成果指標の達成状況</p>			
	<p>① 県との災害時連携協定について                  県関係部局と協議を重ね、三重県と財団が相互に連携・協働して外国人住民等を支援する「みえ災害時多言語支援センター」を設置し、多様な主体との連携・協力のもと、県と共にセンターを運営することについて合意が得られたことから、平成 25 年 4 月に三重県と財団で協定を締結することとなった。</p> <p>② 災害パートナー登録者数について                  通訳・翻訳パートナーをはじめ、災害研修会等において災害パートナーとしての協力を呼びかけてきたところ、目標値を超え 41 名に協力いただけることとなった。</p>			
<p>達成に向けて行った工夫 または 未達成の原因及び講じた改善策</p>				
<p>工夫した点</p> <p>① 全国の県域の国際交流協会や政令指定都市の国際交流協会(地域国際化協会)の中で、県や市と災害協定を締結している国際交流協会を訪問し、現状と課題などについて意見交換を行った。これにより、平常時のネットワークや多言語支援センターの運営シミュレーション等が欠かせない要素となることを学び、県や多様な主体との協働会議に活かすことができた。</p> <p>② 多言語支援センターの設置や運営方法について検討を重ね、互いの強みやネットワークが活かされるような形で協定案をまとめることができた。</p> <p>改善案                  平成 24 年度の目標として設定している県との災害時連携協定や災害パートナー登録者数については概ね達成ができたが、協定に基づくマニュアル作成の部分で課題が残った。県・財団双方の強みやネットワークを活かした多言語支援センターの運営方法について検討をした結果、当初の想定より時間を要し内容がまとまったのは 3 月であった。このため、多言語支援センターの設置・運営等に関し、財団が担う事項についての実施要領案をまとめるにとどまった。多言語支援センターのマニュアルについては、平成 25 年度以降継続協議し作成することで県とは合意が得られている。</p>				
<p>現状の自己評価</p>	<p>評価ランク</p> <p><input type="checkbox"/>S:特に優れた成果が得られた      <input checked="" type="checkbox"/>A:優れた成果が得られた  <input type="checkbox"/>B:一定の成果が得られた      <input type="checkbox"/>C:限定的であるが成果が得られた      <input type="checkbox"/>D:成果が得られなかった                  (該当する評価にチェックを付けてください)</p>			